

事業番号 0175

平成31年度行政事業レビューシート（内閣府）											
事業名	迎賓館の魅力向上に向けた施設整備に必要な経費				担当部局庁	内閣府			作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了 （予定）年度	平成31年度	担当課室	大臣官房企画調整課			企画調整課長 尾原知明			
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	—			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ 観光ビジョン実現プログラム2019						
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	内閣府迎賓館赤坂離宮（以下「迎賓館」という。）では、平成28年4月の一般公開以降、国内外から多くの参観者が来館しているが、参観者等が利用する休憩施設や利便施設は、迎賓館及び周辺エリアでは不足している。ついては、迎賓館前の新宿区若葉東公園において、休憩機能・広報機能・観光案内機能等を備えた新たな施設を整備し、今後、より一層の観光振興の観点からも参観者の利便性・満足度の向上を図ることを目的とする。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	迎賓館参観者の利便性・満足度の向上を図るとともに、周辺エリアの観光上の発信等を行う施設を整備する。具体的な機能として、休憩機能・広報機能・観光案内等を予定している。昨年度から建設工事を進めており、令和2年4月下旬に完成・運営開始を予定している。										
実施方法	その他										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	—	196	499	382					
		補正予算	—	0	1,119	0					
		前年度から繰越し	—	0	70	1,339					
		翌年度へ繰越し	—	▲ 70	▲ 1,339	0					
		予備費等	—	0	0	0					
	計		0	126	349	1,721	0				
	執行額		0	124	278						
	執行率（％）		—	98%	80%						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		—	63%	17%						
平成31・32年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由						
	施設整備費		302	0	令和元年度で施設整備事業は完了予定のため						
	施設施工庁費		79	0							
	委員等旅費		1	0							
	諸謝金		0	0							
	施設施工旅費		0	0							
	計		382	0							
	成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 — 年度
—		—		成果実績	—	—	—	—	—		
				目標値	—	—	—	—	—		
				達成度	％	—	—	—	—	—	
根拠として用いた 統計・データ名 （出典）	—										

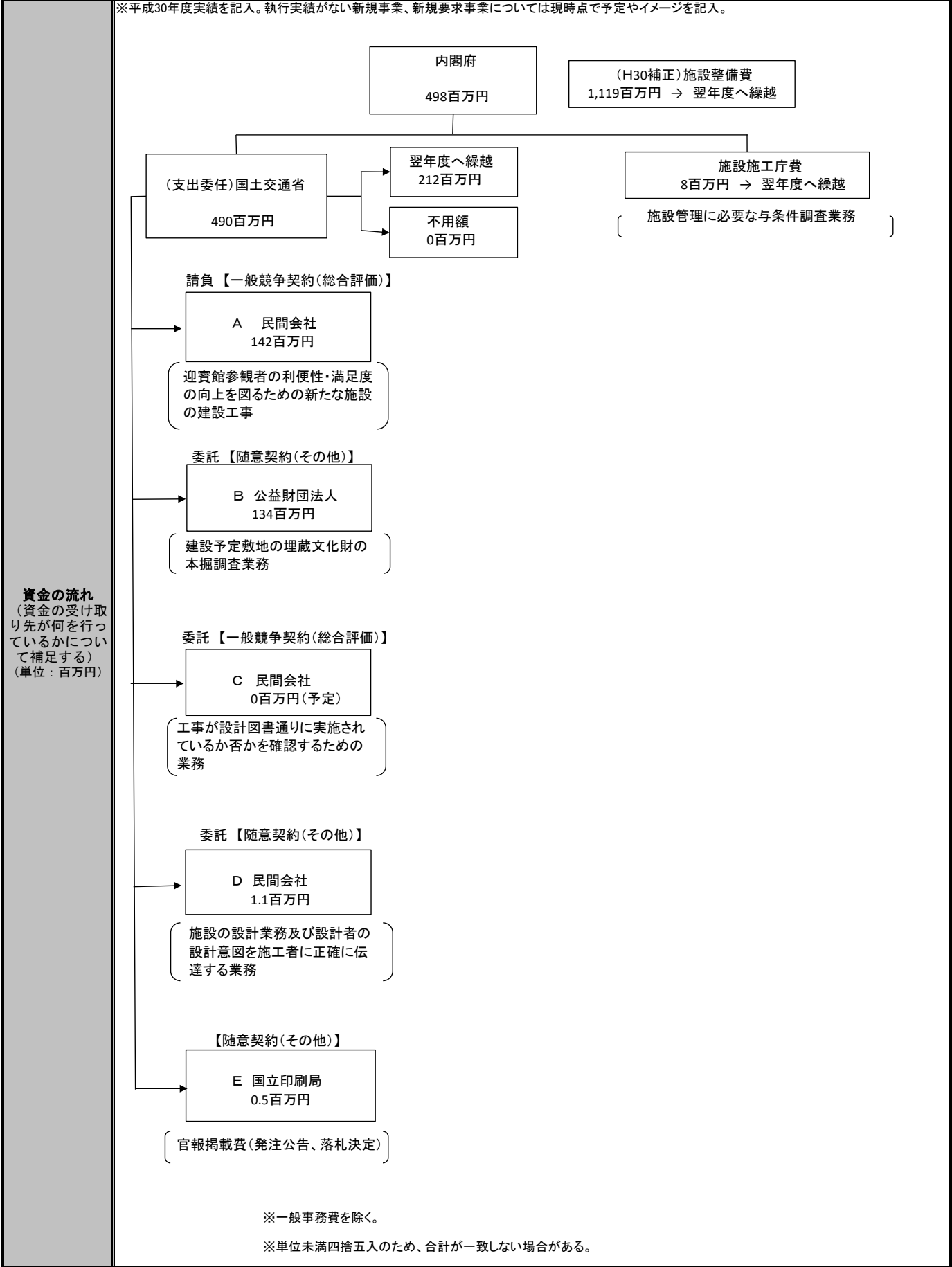
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と28～30年度の達成状況・実績						
		迎賓館参観者の満足度向上が目的ではあるものの、施設の運用自体は令和2年4月下旬に開始予定であるので、定量的な目標を設定できない。			平成29年度は実施設計、埋蔵文化財調査を実施した。30年度は、建設工事に着手し、カフェ運営事業者の公募を実施した。 なお、29年度からの事業により、28年度の達成状況・実績はなし。						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度	
今年度の施設完成・来年度の早期の運営開始を実現させるため、事業者との調整や本体工事について、滞りなくスケジュール通りに進むよう実施する。		事業の進捗状況	実績	—	—	—	—	—	—		
			目標値	—	—	—	—	—			
			達成度	%	—	—	—	—			
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	施設整備スケジュールに沿って、平成29年度は実施設計を完了、30年度から今年度末にかけて建設工事を行う。		活動実績	—	0	1	—	—			
			当初見込み	—	1	1	1	—			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込			
	予算額／実施整備件数		単位当たりコスト	百万円	0	196	1,618	382			
			計算式	百万円/件	—	196/1	1,618/1	382/1			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	—								
		施策	—								
		測定指標	定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度
			—		実績値	—	—	—	—	—	
					目標値	—	—	—	—	—	
			定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況（目標）				
			—		—	—	施策の進捗状況（実績）				
						—	—				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		—									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2018	取組事項	分野：	—	—						
		（第一階層） KPI	KPI（第一階層）			単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
—			成果実績	—	—	—	—	—			
			目標値	—	—	—	—	—			
（第二階層） KPI		KPI（第二階層）			単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
		—		成果実績	—	—	—	—	—		
				目標値	—	—	—	—	—		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
—											

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	施設の整備にあたり、迎賓館周辺に不足している機能を実際の参観者を対象にアンケートを実施した上、検討しており、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	迎賓館の魅力を内外に発信する機能を備えたものを想定しており、迎賓館を所管する内閣府が主体となって整備することが適切である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	観光は『地方創生』の切り札、GDP600兆円達成に向けた成長戦略の柱であり、観光の呼び水とすることを目的とした本事業は、必要かつ適切で優先度は高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業の実施にあたっては、一般競争入札や簡易公募型プロポーザル方式等を実施し、競争性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	業界紙に掲載する等、広く事業者へ周知したものの、一者応札となった案件があった。
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	競争性のない随意契約とした案件にあたっては、設計を実施した受注者との設計意図伝達に係る契約であり、性質上、競争に付することが不利と認められるものである。
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建設工事積算基準等に基づき各契約毎に費用算出していることから妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	工事監理等業務の繰越額については、施設の新築工事の進捗に合わせて工事監理等を行うものであり、本体工事の遅れに伴い、平成30年度に予定していた出来高の達成が不可能となったため。 また、施設の本体工事については、地盤改良工の施工において、施工前に計画していたベースで地盤改良杭の打設を続けた場合、想定以上に周辺環境へ大きな影響を与えることが判明したことから、安全性確保等を勘案して慎重な施工をせざるを得ない状況となり、不測の工期を要したことにより年度内の事業完了が困難となったため。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	施設整備にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手法及びコストにより実施している。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	不測の事態により、作業に遅れは生じたものの、施設整備スケジュール全体に支障はなく、成果実績は成果目標に見合ったものといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手段を選定されている。
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	不測の事態により、作業に遅れは生じたものの、施設整備スケジュール全体に支障はなく、活動実績は見込みに見合っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	設計業務の成果物であるパース等は、参観者及び現場周辺の住民向けに掲示する等、十分活用されている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	・支出先及び使途については、支出委任先である国土交通省が契約し、その内容については、逐次報告を受け、執行状況とともに確認している。 ・競争性の確保については、一般競争入札や簡易型プロポーザル方式等を取り入れている。 ・当初の計画に比べ、不測の事態により、工期延長によるスケジュール変更や、予算の繰越が発生したが、事業全体としては、令和2年4月下旬の施設の完成・運営開始に向けて問題なく進んでいる。		
	改善の方向性	・今後、施設の内部等の整備にあたっては、参観者の利便性・満足度の向上を図るという事業の目的を勘案しつつ、支出委任先である国土交通省とも連携し、コストの抑制に努めることとする。		

外部有識者の所見	
行政事業レビュー推進チームの所見	
終了予定	本年度に事業完了予定のため、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
予定終了通り	所見を踏まえ、施設整備にあたっては、事業完了まで支出委任先である国土交通省と連携し、適切な進捗管理を行うとともに、効果的・効率的な予算執行に努めることとする。
備考	

関連する過去のレビューシートの事業番号								
平成22年度	—		平成23年度	—		平成24年度	—	
平成26年度	—		平成27年度	—		平成28年度	—	
平成29年度	新29-0013							
平成30年度	内閣府 (0166)							

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 鉄建建設株式会社			B. 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	施設整備費	施設の建設	142	施設整備費	埋蔵文化財調査	134
	計		142	計		134
	C. 日和エンジニアリング株式会社			D. (株)柳澤孝彦タック建設研究所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	施設施工庁費	工事監理業務	0	施設施工庁費	施設の設計業務	0.3
				施設施工庁費	設計意図を施工者に正確に伝達する業務	0.8
	計		0	計		1.1
	E. 国立印刷局			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	施設施工庁費	官報掲載費	0.5			
	計		0.5	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	鉄建建設株式会社	2010001008709	施設の建設	142	一般競争契約 (総合評価)	2	98.5%	—

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人東京 都スポーツ文化事業 団	5011005003759	埋蔵文化財調査業務	134	随意契約 (その他)	1	100%	—

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日和エンジニアリ ング株式会社	7013301009652	工事監理	0	一般競争契約 (総合評価)	1	82.8%	—

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)柳澤孝彦タック建 築研究所	5010001059451	施設の設計業務	0.3	随意契約 (その他)	2	99%	—
2	(株)柳澤孝彦タック建 築研究所	5010001059451	設計意図を施工者に正確 に伝達する業務	0.8	随意契約 (その他)	1	99.7%	—

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立 印刷局	6010405003434	官報掲載	0.5	随意契約 (その他)	—	—	—

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	鉄建建設株式 会社	2010001008709	施設の建設	1,387	一般競争契約 (総合評価)	2	98.5%	—
2	C	日和エンジ ニアリング株式 会社	7013301009652	工事監理業務	14	一般競争契約 (総合評価)	1	82.8%	—
3	D	(株)柳澤孝彦 タック建築研 究所	5010001059451	設計意図を施工者に正確 に伝達する業務	4	随意契約 (その他)	1	99.7%	—